

第6回 仙台市総合計画審議会起草委員会議事概要

この議事概要は、事務局の責任においてとりまとめた速報であり、事後に修正する可能性があります。なお、正式な議事録については、別途ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

日 時 平成22年 8 月 3 日（火） 14：00～16：00
会 場 仙台市役所 2 階 第三委員会室
出席委員 大滝精一委員長、江成敬次郎委員、小野田泰明委員、小松洋吉委員、
西大立目祥子委員、庭野賀津子委員、間庭洋委員〔7名〕
欠席委員 柳井雅也委員〔1名〕
仙 台 市 企画調整局長、企画調整局次長、総合政策部参事、総合計画課長、総合計画
課主幹(2)
次 第 1 開会
2 議事
(1) 基本構想（中間案）について
(2) その他
3 閉会
配付資料 資料1 仙台市基本構想（中間案）

会議の概要

議事

(1) 基本構想（中間案）について

- ・事務局から資料1を基に説明し、事前にうかがった欠席委員のご意見を紹介した後、意見交換を行った。

<主な意見等>

- ・行政も当然市民力を育てる一役を担うが、やはり市民社会が市民力を育てる、その仕組みが大事ではないか。
- ・子供たちを将来の市民としてだけでなく、既に市民力の担い手である市民としてしっかり位置づけていただきたい。
- ・4（1）の一段目について、仙台市のこれからの意気込みを示すものなので、認識や分析ではなくて、主体的な姿勢をもっと示した表現にしていくべきではないか。
- ・4（1）にある自立とは、何が何から自立するということを言いたいのか。
地方分権が進み国と地方との関係が変わってきており、また財政制約が強まっている状況から言っても、都市経営を自立させていくために市役所としても自己改革を進めていかなければならないということ、及びこれから市民との協働や市民力の育成が重要になってくることを意識して自立という用語を用いた。
- ・仙台は政令指定都市として自立したイメージをもっていた。内容としてニュアンスを盛り込むとしても、タイトルとしてはあえて使わなくてもよいのではないか。

- ・ 2 (1) のところにだけ、脱スパイクタイヤ運動の具体例をあげているのだが、あえてここで具体例を出す必要があるのか。
今までの一つの大きな成果であったことから具体例として出したが、ご指摘のとおりここだけ具体例が入っているので、バランスが悪いというご意見もあろうかと思う。
- ・ 基本構想なので、できるだけシンプルなほうがよい。入れるのであれば構想ではなくもっと別なところに入れるべきではないか。
- ・ 市民力については、必要性は高まってくるが現実にはそれを担える状態になっていないので、支え合う市民力とか、いろんな市民力を活用するということと合わせて、そういう市民力をどう育成していくのかということを検討する必要がある。
- ・ いわゆる弱者や、ハンディキャップをもっている方から見ると、市民力というものがものすごく遠くて、自分ではできないのではないかという印象をもたれてしまうとマイナスになってしまう。そういう人に対しても市民力が身につくよう育成することによって、初めて仙台市民の育成力全体が高まっていくという視点はやはり重要ではないか。
- ・ この基本構想が行政側から市民に対して、21世紀中葉までにこんなまちにするという一つのプレゼンテーションであることを考えると、もう少し意思を示し、イメージを喚起し、しかも細部が整っているようなものにならないといけないと思うが、市民と共有してこの基本構想を共につくるという立ち位置が少し希薄なのではないか。
庁内的にもいろんな議論を経た中で、基本計画との役割分担を考慮しつつ、導入という位置づけのもとに、簡潔、明快にまとめてみたところ。
- ・ 1 (1) の中で1か所くらい遺産という言葉を使いたい。城下町400年の歴史・伝統・文化遺産を基盤にまちができてきて、その資源を活用して発展してきたとか発展していくというニュアンスが込められればと思う。
- ・ 1 (2) のところは、もう少し文言が整理できるのではないか。地球規模の温暖化とか、これと並列で人口減少が出てきたり、災害のことが出てきたりしている。これはセンテンスを切ってもう少しきちんと整理できるのではないか。
- ・ 2 の市民力の分類方法は、ある活動のタイプ別の記載だけに留まっている気がした。地縁型のコミュニティが相対的に弱まっていく中で、課題・テーマで集まる市民の活動が、テーマコミュニティというか新たなコミュニティになっていくということをすごく強く感じる。地域団体の活動が人口減少の中で弱まっていく中で、新たな市民活動の芽が育って大きな成果を少しずつ出し始めているという評価がここに入ってきて、2 の市民力の分類が育成にまで踏み込んだものになっていくと良いのではないか。
少子高齢化の状況、人口減少の状況がいろいろ地域によって違いが出てきている中で、特に人口減少が進むような地域においては、地域自らが地域コミュニティを再活性化していくべきだという動きも、随分根付いてきていると実感している。地域コミュニティからテーマコミュニティというよりは、いろいろなコミュニティが同時並行で更に市民力を担っていくことが重要であるとの認識のもと、こういうまとめにしている。
- ・ 3 (3) のところで「水と緑のネットワーク」と出てきているがとても抽象的ではないか。もう少し農業に対する視線みたいなものが、ここに入ってきてもいいのではないか。
- ・ 3 (4) のところも、仙台の都市機能を高めて東北を支えるということ以外にも、東北の

農林漁業、農的な可能性みたいなものを含めた記載があっているのではないかと。

- ・ 4の都市経営のところで、行政運営に協働の仕組みを取り入れるというのは、今でも取り入れているのではないかなと思う。政策決定に市民がかかわることができるのか、そのために行政側も市民もどのように変わっていかなければならないのか、課題は何なのかなどに踏み込んで書いてもいいのではないかと。

どこまで踏み込んで書くかについては、基本計画との兼ね合いでどう書くかということだと思うので、基本計画の中間案と合わせて見ながら、どの程度盛り込むかをご議論いただきたい。

- ・ その地域によっていろいろな課題の地域差が大きくなってきているということは書かないのか。

人口の粗密や高齢化の進捗具合に対するきめ細かな地域政策とか、市民協働、市民の政策参加といったものを基本計画の重要項目の一つに据えることを予定している。

- ・ 基本構想の都市経営のところは、協働の仕組みを取り入れて、市役所の自己改革を進めるという非常に踏み込んだ内容になっている。
- ・ まず人を大切にするというプリンシパルに基づいて、この市民力を掲げるという哲学がいいのかとも思った。子供からお年寄りすべての人がきちんと自己決定できる環境でそれが公共財につながる、そのためにはやはり市民力というものを政策の中心に掲げる必要があるということが、もし可能ならば書かれるといい。
- ・ 市民力はコミュニティのかなめ。生活の場が豊かであるためには、一人一人が自分の住んでいる地域に対して愛情をもって活動するという、地に足の着いたコミュニティというものが大事になる。一方、地域の限定を超えた市民力というものもあるはず。趣味や興味を深めるコミュニティや仙台に基盤を持ちながら他地域、世界に開いていくといったもの。地域コミュニティにおける市民力は(2)でうたい、ローカルでありながら非常にグローバルな概念だということ(3)でうたい、4番目にカテゴリーの問題で学都の学生の問題や企業の話が必要であれば補足するという分け方もある。
- ・ 3(1)で自然環境とか循環型社会などのサステナブル社会をどうつくるかは非常によく書かれているが、総合的な都市基盤をどう考えるかはほとんど書かれていない。として都市仙台の魅力を創出する優れた地域環境が必要であり、それはさまざまな人が交流する活動がより魅力を持って輝く、そういうフローである活動がストックに変わっていく、そういう基盤として必須であるということを書いていただきたい。
- ・ 3(3)のところで「エネルギー効率の高い機能集約型の都市構造の構築を進め、便利で快適に暮らし、活動できるまち」と書いてあるのはいいが、集中した後の残りはどうなってしまうのか。周辺にたくさんある限界集落みたいなところをきちんとしていけないと景観も保持できないし、そこを活用して豊かな生活の資源として使うためには、やはり人がある程度住んで手入れをしていかなければいけないという視点が、仙台市の計画としては必要だと思う。そこには農業とか林業などを書き込む余地はあるはずで、それをと位置づけてはどうか。
- ・ 4(1)のところは自立的決定の意味、公的サービスの見直し、協働のプロセス、決意表明ときれいにはなっているが、一段目になぜ自立的決定が必要なのかがあるとよい。都市仙台を中

心としながら世界さまざまな地位、知恵や能力を集め判断していき、それを住民の積極的な参画をもって果敢に決断していくダイナミズムがやはり行政には求められるとする。二段目ではそれを受けて公的サービスの定義だけではなく行政の定義の見直しと考えた方がいい。そのためには、今までの行政をサービスする側と受ける側という関係を脱し、更に行政の仕事とビジネスという仕分も柔軟に解釈していく。それを架け渡すために市民力による公共サービス分野の開拓が必要不可欠だが、そういうことが独断には陥らないように、しっかり合意を調達して施策の中に位置づけられ、かつ、それがグローバルゼーションに対応した、早い速度と創造的内容を具備していかないといけない。そのためには、透明で、かつ、協働するプロセスが、行政運営の内部に明確に組み込まれてなければならない。これが三段目のプロセス。そこで協働でありその主体となるのが今回定義した市民力と入れる。四段目で、プロセスを使いながら難しい課題に挑戦し続けるということ、それをしっかりと蓄積してフィードバックしていくということの積み重ねが最終的には市民力の育成につながっていき、プロセスの中から市民力は生まれていく、とすれば市民力の育成というテーマにも答えることができるのではないかと。

認識はほとんど共通の部分があると思うので、それをどういう枠組み、構成の仕方ですとまとめ直すかは委員長と相談しながら、個別にまた調整し修正していきたい。

- ・「ひとが輝き続ける杜の都」という統合目標について、前回の暮らし続けたいよりは分かりやすいと思う。
- ・2で市民力が出てきて、次に3の都市像が出てくるという、要するに、そういう市民力が輝くような形でこういう四つの都市像を目指していくというつながりは流れとしていいと思っており、そういう意味でこの統合目標はここでつなぎ役になっているのではないかと。
- ・「ひとが輝き」の後に「暮らし続けたい」というのが入った方がいい。輝き続けるというのは常にがんばっていないといけないので大変だと思う。
- ・将来にわたってこのまちを次に暮らす人に手渡していくという感じで都市のことを思うのだが、そう考えると、やはりこのまちに暮らしたいと思われるような仙台にすることが一番大事な気がする。したがって、どちらかというと、「輝く」よりは「暮らし続けたい」という方がいいのではないかと。
- ・「ひとが輝き暮らし続けたい」というのはちょっとくどいのではないかと。もし「暮らし」を残すならば「ひと」を削除した方がいいのではないかと。
- ・話し言葉と読み言葉では違うと思う。キャッチフレーズ的に言葉として語るのなら長い気がするが、報告書に載せる字なら「暮らし続けたい」が入ってもおかしくないのではないかと。文章の関係としては統合目標の前に「仙台が、どのような時代環境にあっても豊かな暮らしを支える持続可能な都市」という表現で、これは「・・・な都市＝統合目標」という位置づけのものでありたいという文章構成にしている。今の話をもし入れるのであれば、「・・・な都市」の前のどこかを「暮らし続けたい」という表現に変えるか、あるいは「ひとが輝き、暮らし続ける杜の都」と使うか、どちらかという感じがする。
- ・セントラル自動車の移転でこちらに引っ越してくる社員の方の印象を聞くと、仙台のまちの全体的な魅力として暮らしが非常に鮮明に言われている。暮らしというものは結構重要だとつくづく思ったので、「暮らし続けたい」あるいは「住み続けたい」ということを何らかの形で組

み込んでいただきたい。

- ・「輝き続ける」というのは常に競争していかないといけない東京とは違い、仙台にはちょっと似つかわしくないと思う。競争はしているが、何か人間的にそれが成就できる場所が仙台なのではないかと思っていて、時間を自分で管理できるその自由さがある仙台に住むことができてよかったと思う。輝き続けられないといけないという強制力が働くと余裕がなくなるから、「輝き」と「続ける」は分けた方がいいと思う。
- ・企業が自分の都合の良いときだけ来て、魅力のないマーケットになったら撤退するということではなくて、地元で営々として商売を続けなければならない人たちが、地元のお客様や取引先を大事にし続けて、そこで暮らし続けていくという時代にだんだん変わっていくと思う。そういう意味では、持続的な意味というのは生活者としても商売をやる方としても、これから非常に大事な概念になってくる。そういう意味では「何々し続ける」ということは、非常に重要な意味合いを持っているのではないか。やはり持続性、継続性ということを何らかの形で前後の表現に十分組み込んでほしい。
- ・基本構想の中で持続可能な都市という言葉を用いる場合に、やはりその意味を明確にしておかないと、本当は何を言いたいのか分からなくなってしまう。後は一般市民目線から考えた場合に、この仙台という都市は今後も当然続いていくと思っている方がほとんどだと思うので、持続可能な都市としてあげるのならば、その理由を明確にしていきたい。
- ・「暮らし続けたい」と言った場合に、その主語はどの範囲なのか明確にすべき。例えば仙台を選んで住む方もいれば、土地や家の関係ですべて仙台にいたってはいけないという元々の市民もいるわけで、「暮らしやすい」というような言葉であれば誰でも当てはまるが、「暮らし続けたい」という持続を表す言葉は、あちこちに散りばめるのはそれで意味のあることだが、ここで大きなテーマとして一つあげるとすべての方には当てはまらない気がする。

(2) その他

特に議題は出されなかった。